

平成31年度第1回宇都宮市地産地消推進会議 次第

日時：平成31年4月24日（水）

午前10時～

場所：中央生涯学習センター404学習室

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 暫定議長の選任について
- 4 議事
 - ・議案第1号 役員の選任について
 - ・議案第2号 平成30年度事業報告及び収支決算について
 - ・議案第3号 平成31年度事業計画及び収支予算について
- 5 その他
- 6 閉会

宇都宮市地産地消推進会議委員名簿

役職	No	氏名	職業等	任期	備考
第1号委員 (市議会議員)	1	ふくだ くみこ 福田 久美子	市議会議員	平成29年6月12日～ 平成31年6月11日	
	2	しのざき けいいち 篠崎 圭一	市議会議員	平成30年6月15日～ 平成31年6月11日	
第2号委員 (学識経験者)	3	つうら こういち 津浦 好一	栃木県河内農業振興事務所 所長	平成31年4月1日～ 平成33年3月31日	
	4	しが とおる 志賀 徹	宇都宮大学 名誉教授	〃	
第3号委員 (関係団体の代表)	5	いしはら のりお 石原 典男	宇都宮農業協同組合 代表理事常務	〃	
	6	うえの としみつ 上野 敏光	河宇ファーマーズショップ連絡会 会長	〃	
	7	かなえだ ゆうこ 金枝 右子	宇都宮市消費者友の会 会長	〃	
	8	やまぐち かずこ 山口 和子	宇都宮市農村生活研究グループ協議会 会長	〃	
	9	しおい しげとし 塩井 重利	宇都宮市園芸振興連絡協議会 副協議会長	〃	
	10	たのべ だいすけ 田野邊 大介	東一宇都宮青果株式会社 代表取締役社長	〃	
	11	たむら けんいち 田村 健一	栃木県飲食業生活衛生同業組合 宇都宮大衆支部 支部長	〃	
	12	とくおか ひろし 徳岡 浩史	公益社団法人 宇都宮青年会議所 常任理事	〃	
	13	ますぶち さちこ 増淵 祥子	宇都宮市食生活改善推進員協議会 会長	〃	
	14	さとう かなめ 佐藤 要	宇都宮市PTA連合会 常任理事	〃	
	15	まつもと ゆずる 松本 謙	株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長	〃	
16	こばやし としゆき 小林 利幸	宇都宮青果商業協同組合 専務理事	〃		
17	いちかわ ゆうじ 市川 裕二	株式会社東武宇都宮百貨店 食品・レストラン部 部長	〃		
18	わかばやし ふみお 若林 二三夫	株式会社オータニ 執行役員商品部部長	〃		

宇都宮市地産地消推進会議 事務局名簿

役職	氏名	所属
事務局長	大島 誠司	農林生産流通課 課長
事務局次長	和田 貴弘	農林生産流通課 課長補佐 森林整備・鳥獣対策グループ係長兼務
事務局	大島 健一	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ係長
	石川 恵美	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ総括
	河野 勝	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	田崎 里佳	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	横山 亜依	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ

議案第 1 号 役員を選任について

委員の任期満了に伴い、規則第 3 条第 4 項、運営要領第 4 条第 2 項の規定に基づき、委員の互選による役員を選任を求めます。

平成 3 1 年 4 月 2 4 日

新たに選任する役員

役 職	氏 名
会 長	
副会長	
監 事	
監 事	

(役員任期：2 年)

議案第 2 号 平成 3 0 年度事業報告及び収支決算について

平成 3 0 年度事業報告及び収支決算について, 運営要領第 5 条第 1 項第 1 号及び第 2 号の規定に基づき, 次のとおり議決を求めます。


平成 3 1 年 4 月 2 4 日

平成30年度事業報告

1 事業方針

「第2次宇都宮市地産地消推進計画」に基づき、地産地消を推進するため、宇都宮市産農産物の生産振興と消費拡大、安全・安心な宇都宮市産農産物の供給や食育を推進する事業を展開した。

(1) 普及啓発事業


実施日 【経費】	人数等	内 容	場所等
H30. 8. 22	—	ミヤラジ出演におけるPR 8月に旬を迎えている梨・ぶどうのPR、カクテル倶楽部キャンペーンの告知	—
H30. 10. 14 【9,200円】	43,000人	うつのみや食育フェアにおけるPR こしひかりの精米体験を通して宇都宮市産米の特徴やおいしさのPR	宇都宮城址公園
H30. 11	—	地産地消強化月間におけるPR 広報紙での地産地消特集 市役所1階 ディスプレイ での宇都宮市 産米の紹介や 地産地消パネ ルの展示 	—
H30. 11. 17~18	35,000人	宇都宮市農林業祭におけるPR 宇都宮市産米のPR、地産地消推進店 マップ等パンフレットの配布	ろまんちっく村
— 【400,000円】 ※アグリネットワーク、ブランド農産物推進協議会と負担	—	農業王国うつのみやHPリニューアル H31. 3. 28より、地産地消推進店の情報を充実させた新しいホームページの公開	—

(2) 地場農産物利用促進事業

実施日 【経費】	人数等	内 容	場所等
H30. 4. 2～6. 30 【387, 470 円】	来場者数 42, 869 人 応募総数 442 件	<p>うつのみや地産地消推進店（宿泊施設）における「うつのみやのあさごはんフェア」の実施</p> <p>※D C 限定企画</p> <p>◆内容 栃木デスティネーションキャンペーンにおいて、宇都宮市産農産物の利用及び消費拡大を図るため、うつのみや地産地消推進店（宿泊施設）にて、宇都宮市産農産物を使用した施設ごとのオリジナル地産地消朝食メニューを提供。店舗設置のアンケートに記入し、応募すると宇都宮市産農産物等のプレゼントが当たる企画を実施。</p>  <p>⇒7 店舗が参加</p> <p>◆あさごはんフェアチラシの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル7 店舗 28, 900 部 ・宇都宮餃子祭り in 横浜 800 部 ・観光案内所 300 部 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮グランドホテル ・ホテルアールメッツ宇都宮 ・宇都宮東武ホテルグランデ ・ホテル・ザ・セントレ宇都宮 ・ホテルマイステイズ宇都宮 ・ホテル丸治 ・ホテルニューイタヤ
H30. 6. 4～6. 29 【777, 069 円】	来店者数 1, 375 名	<p>「るるぶキッチン AKASAKA 宇都宮フェア」の実施</p> <p>※D C 限定企画</p> <p>◆内容 東京にある(株)JTBパブリッシングが運営する「るるぶキッチン AKASAKA」において、宇都宮市産農産物の P R を行うことにより、首都圏から宇都宮市への観光客の誘導を図るため、宇都宮市産農産物を使用したオリジナルメニューを提供。</p>  <p>⇒使用品目</p> <p>大谷夏いちご、宇都宮牛、とちぎゆめポーク、宇都宮市産トマト、宇都宮ブリッツェン米</p>	

		<p>⇒提供メニュー</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・大谷夏いちごのベリーボニータ ・宇都宮牛のスカロッピーナサルサベルデソース ・とちぎゆめポークのとろーりチーズパルミジャーナ <p>宇都宮産トマトのソースがけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮産トマトのブルスケッタ 雷都物語田舎みそ仕立て ・若山農場たけのこと宇都宮ブリッツェン米の手毬寿 	
H30. 6. 7～8. 31 【429, 250 円】	アンケート 139 件回収	<p>「大谷夏いちご×宇都宮カクテル倶楽部キャンペーン」の実施</p> <p>※DC限定企画</p> <p>◆内容 宇都宮市を訪問した観光客や市内消費者に対し、大谷夏いちごの認知度向上及び消費拡大を図るため、宇都宮カクテル倶楽部の一部店舗において、大谷夏いちごを使用した、店舗ごとのオリジナルカクテルを提供。店舗設置のアンケートに記入すると、抽選で「特製大谷石コースター」がその場で当たるプレゼント企画を実施。</p>  <p>⇒6店舗が参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプのけむり 池上町本店 ・BAR Khan ・バー・フェイク ・HARU パイプのけむり ・バー・ヤマノイ ・ヒーローズ
H30. 10. 8 【30, 365 円】	来場者数 3,700 人 アンケート 109 件回収	<p>「うつのみやマルシェ」の開催</p> <p>◆内容 うつのみや地産地消推進店の利用促進や宇都宮市産農産物の消費拡大を図るため、東武宇都宮百貨店において開催される「栃ナビ！マルシェパンまつり」と同時開催で「うつのみやマルシェ」を開催。</p> <p>【出展者及び出展内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリランドシティショップ(農産物直売コーナー) 	東武宇都宮百貨店

		<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮ブリッツェンファーム（新米コーナー） ・若山商店（アグリネットワークコーナー） ・宇都宮市地産地消推進会議（農業王国うつのみやPRコーナー、アンケートに協力いただいた方に地産地消啓発グッズをプレゼント） ・上記ブース内にて500円以上購入した方に、パワーサラダ（※）のプレゼントとレシピの配布 <p>※(株)グリーンデイズとキューピー(株)北関東営業所の協力により、西洋野菜と卵やゆめポークを使用したサラダ</p> 	
H30. 10. 13 【791 円】	<p>来場者数 752 人</p> <p>パネル展来場者数 37, 121 人</p> <p>アンケート 39 件回収</p>	<p>「うつのみや地産地消マルシェ」の開催</p> <p>◆内容 宇都宮市産農産物の認知度向上及び消費拡大を促進するため、宇都宮農業協同組合、南図書館カフェ「ラウハ・クッカ」（うつのみや地産地消推進店）と共催し、うつのみや地産地消マルシェ及び地産地消パネル展を開催。</p> <p>【うつのみや地産地消マルシェ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 農業王国うつのみやのPR、新米や梨の試食、アンケートに協力いただいた方に地産地消啓発グッズをプレゼント <p>【パネル展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 10月11日～10月30日 ・内容 地産地消のメリットや宇都宮市産農産物の紹介等 	南図書館
H30. 10. 1～11. 30 【3, 920, 440 円】 ※経費は「食べよう！採れたて うつのみや産キャンペーン」と	<p>応募数 6, 696 通</p>	<p>「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」の実施</p> <p>◆内容 実施店舗にて販売される宇都宮市産農産物に貼付されているシールを10枚集めて応募すると、抽選</p>	とりせん、四季菜堂など

合わせた金額		で宇都宮のうまいもんをプレゼントするもの 実施店舗 うつのみや地産地消推進店である直売所・小売店のうち46店舗	
H30.11.25～ H31.1.31	応募数 398通	「食べよう！採れたて うつのみや産キャンペーン」の実施 ◆内容 期間限定メニューを食べることで、応募用紙にスタンプを押してもらい、スタンプを1～3個集めて応募することで、抽選で宇都宮のうまいもんをプレゼントするもの 実施店舗 うつのみや地産地消推進店である飲食店・宿泊施設のうち32店舗	プルプ、フィーロなど
H31.3.16	来場者数 4,060人 アンケート 119件回収	「うつのみや地産地消マルシェ」の開催 宇都宮市産農産物の認知度向上及び消費拡大を促進するため、宇都宮農業協同組合、キューピー(株)北関東営業所、南図書館カフェ「ラウハ・クッカ」（うつのみや地産地消推進店）、と協力し、うつのみや地産地消マルシェを開催  ◆内容 農業王国うつのみやのPR、いちごの試食、宮サラ(※)の試食とレシピの提案、アンケートに協力いただいた方や地産地消クイズに参加した方に地産地消啓発グッズをプレゼント ※キューピー(株)北関東営業所の協力による、宇都宮市産農産物等を使ったサラダ	南図書館
通年 【1,671,840円】		うつのみや地産地消推進店認定 宇都宮市産農産物の利用促進に係るキャンペーンやフェアの開催にあたり、新規となる市内小売店及び飲食店に案内し、キャンペーンやフェアへの参加を促すとともに、地産地消推進店への加入を促進した。 また、PR用に地産地消推進店マップを作成し、市内外のイベントにおいて配布予定。	

		<p>◆平成30年度認定件数</p> <p>新規 22店舗 更新 85店舗 辞退 18店舗</p> <p>◆推進店数 前年度比</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直売所</td> <td>10店舗</td> <td>10店舗</td> </tr> <tr> <td>小売店・量販店</td> <td>60店舗</td> <td>67店舗</td> </tr> <tr> <td>飲食業・宿泊施設</td> <td>65店舗</td> <td>62店舗</td> </tr> <tr> <td>食品加工業者</td> <td>1店舗</td> <td>1店舗</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>136店舗</td> <td>140店舗</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成30年度	直売所	10店舗	10店舗	小売店・量販店	60店舗	67店舗	飲食業・宿泊施設	65店舗	62店舗	食品加工業者	1店舗	1店舗	合計	136店舗	140店舗	
区分	平成29年度	平成30年度																			
直売所	10店舗	10店舗																			
小売店・量販店	60店舗	67店舗																			
飲食業・宿泊施設	65店舗	62店舗																			
食品加工業者	1店舗	1店舗																			
合計	136店舗	140店舗																			
<p>通年</p> <p>【879,120円】</p>		<p>地場農産物・販売店等マッチング事業の実施</p> <p>◆農産物マッチングコーディネーターを任用してアグリネットワークなど関係機関と連携して、農業者及び実需者情報の収集・整理・分析を図り、適切なパートナーとのマッチングを実施</p> <p>⇒マッチングが成立し取引開始した件数 7件（※）</p> <p>引き続き商談中の件数 5件</p> <p>※さつまいもと食品製造業者, いちごと和菓子製造業者等</p>																			

(3) 安全・安心な地場農産物供給事業

実施日 【経費】	人数等	内容	場所等
H30.8.27～ 9.2	—	農産物直売所巡回指導 ・河内農業振興事務所と連携し、出荷制限対象農産物等及び生産履歴記帳についての確認・指導	市内直売所26箇所
H31.3.6 【3,672円】	43人	農産物直売所等の食の安全・安心対策研修会 (1) 農薬の適正使用について —生産履歴の重要性— (2) 食品表示法について (3) GAPの推進について	河内農業振興事務所

「第2次宇都宮市地産地消推進計画」の取組状況について

(1) 目標とする指標の達成状況

・ 基本目標1 地場農産物の生産振興と消費拡大「宇都宮市産農産物を積極的に購入する割合」

年度	H25 (当初)	H27	H28	H29	H30 (最終)
年度目標	—	59.5%	63%	66.5%	70%
実績	52.5%	—	81.3%	77.4%	78.5%
達成率	—	—	129.1%	116.4%	112.1%

(宇都宮市「市政に関する世論調査」)

⇒ 平成30年度時点の取組状況の評価 A

地産地消推進店の認定やまるかじりキャンペーンなどで、市民や消費者が宇都宮市産農産物を選びやすい仕組みづくりなどに取り組んでいる。その他、マッチング事業、6次産業化の取組を通して、小ロットではあるが宇都宮市産農産物の利用拡大は図る取組を実施しているほか、小中学校の学校給食における地産地消についても積極的に取り組んでいる。日常的に宇都宮市産農産物を利用してもらえよう、消費者や実需者が選びやすい環境をつくるとともに、生産者から消費者・実需者までの流通体制の構築等に取り組む必要がある。

・ 基本目標2 健全な食生活の実現「出荷者すべてが生産履歴を記帳している直売所の割合」

年度	H24 (当初)	H27	H28	H29	H30 (最終)
年度目標	—	70%	80%	90%	100%
実績	40%	41.4%	34.6%	44.0%	集計中
達成率	—	59.1%	43.3%	48.9%	集計中
参考※	70.0%	75.9%	88.5%	84.0%	集計中

※ 出荷者の一部が生産履歴を記帳している直売所の割合 (栃木県「農産物直売所等の設置状況調査」)

⇒ 平成29年度時点の取組状況の評価 C

出荷者同士が共同で設置・運営する直売所においては、出荷者の一部が生産履歴の記帳に取り組んでいる直売所が多いものの、出荷者全員を対象にすると、生産履歴の記帳や保存の取組までは徹底されていないのが現状である。理由としては、生産履歴の必要性には気付いているものの、生産や出荷そのものに時間がかかるため後回しになってしまう等であった。安全安心な宇都宮市産農産物の供給のため、生産履歴の重要性についてさらなる意識強化を図るとともに、必要な支援を行う必要がある。

・ 基本目標3 都市と農村の交流促進「ふれあい交流イベント入場者数」

※ 宇都宮さつき&花フェア（5～6月）、うつのみや食育フェア（10月）、宇都宮農林業祭（11月）の入場者数の合計

年度	H25（当初）	H27	H28	H29	H30（最終）
年度目標	—	14.8万人	15.2万人	15.6万人	16万人
実績	14万人	11.7万人	13.3万人	13.2万人	13.8万人
達成率	—	79.1%	87.5%	84.6%	86.3%

（宇都宮さつき&花フェア実行委員会・うつのみや食育フェア実行委員会・宇都宮市農林業祭開催委員会調べ）

⇒ 平成30年度時点の取組状況の評価 B

天候の影響により人数の増減はあるが、多くの入場者数を確保している。引き続き、市民の地産地消の理解や農業への理解につながる場として、農産物の試食販売や農作業体験、クイズの実施等、上記以外のイベントも含め内容を工夫し、宇都宮市産農産物の消費拡大につながるよう取り組む必要がある。

3 総括

「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」は5年目を迎え、事業の定着もあり、応募総数が過去最高となった。また、このキャンペーンにおいても地産地消モニター制度を導入し、モニターになった市民の皆さんにまるかじりキャンペーンの実施店舗を訪問してもらい、その様子の写真を投稿する等、モニターになることで市民の皆さんにも地産地消を知ってもらう機会の創出を図った。

「食べよう 採れたて うつのみや産キャンペーン」は多くの店舗に参加していただいたが、応募総数が大幅に減少してしまった。参加していただいた店舗からはまたこのようなキャンペーンに参加したい等の前向きな回答もあったことから、周知方法やプレゼント応募方法等について検討していく必要がある。

これらのキャンペーンに併せて地産地消推進店を勧誘し、新しく22店舗の地産地消推進店を認定した一方、宇都宮市産農産物の利用が少なくなっている等の理由から地産地消推進店の更新辞退をした店舗が18店舗あることから、継続的に宇都宮市産農産物を使用していただけよう、原因や課題の洗い出しと対応が必要である。

また、平成30年度に実施された栃木デスティネーションキャンペーンに併せて、あさごはんフェアやカクテル倶楽部とのキャンペーンを実施し、市外から訪れる観光客に対しても、宇都宮市産農産物をPRすることができたほか、キューピー(株)北関東営業所の連携により、市内イベントにおいて宇都宮市産農産物を使用したサラダを提供することができ、イベントをきっかけに事業者間連携の取組が進むなど、宇都宮市産農産物の消費拡大につながるような場を新たに提供することができた。

このようにキャンペーンやイベントを通して、新たな取引等が展開できた一方、地産地消推進店が辞退することなどを踏まえると、今後は継続的に宇都宮市産農産物を使用してもらえる環境を整えていくことが重要と考える。

その際には、平成31年度からの新しい地産地消推進計画（第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画のうち、基本施策3 市民と農家を結ぶ地産地消の強化）においては、「手に入れやすい仕組みづくり」「市民が支える仕組みづくり」「安心感を高める仕組みづくり」の3つを体系づけて地産地消を進めていく方針であることから、引き続き事業計画において目標値を設定し、事業報告や計画の取組状況から導き出された課題解決に向けて取り組んでいく。

Ⅱ 平成30年度収支決算

1 収入の部

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 交付金		8,787,000	8,787,000	0	
	(1) 交付金	8,787,000	8,787,000	0	宇都宮市
2 助成金		1,545,000	1,545,000	0	
	(1) 団体助成金	1,545,000	1,545,000	0	宇都宮農業協同組合
3 繰越金		37,403	37,403	0	
	(1) 繰越金	37,403	37,403	0	前年度繰越金
4 雑収入		597	50	△ 547	
	(1) 雑収入	597	50	△ 547	利息
合 計		10,370,000	10,369,453	△ 547	

2 支出の部

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 事務費		238,000	353,404	115,404	
	(1)会議費	88,000	73,200	△ 14,800	
	(2)事務費	150,000	280,204	130,204	郵送代, 事務用品ほか
2 事業推進費		10,132,000	9,752,577	△ 379,423	
	(1)普及啓発活動費	603,000	707,228	104,228	ホームページ【400,000円】 ほか
	(2)地場農産物 利用促進費	9,455,000	9,041,677	△ 413,323	朝ごはんフェア【387,470円】 るるぶキッチン【777,069円】 カクテルキャンペーン【429,250円】 まるかじりキャンペーン, うつのみや 産キャンペーン【3,920,440円】 地産地消推進店認定【1,671,840円】 マッチング事業【879,120円】 ほか
	(3)安全・安心 な農産物供給 事業費	74,000	3,672	△ 70,328	安全・安心対策研修会費用【3,672円】
合 計		10,370,000	10,105,981	△ 264,019	

収入決算額 10,369,453 円

支出決算額 10,105,981 円

差引残高 263,472 円

残額は次年度へ繰越

監 査 報 告

平成30年度宇都宮市地産地消推進会議の事業執行及び会計について、
関係書類及び帳簿等を監査した結果、事業の執行状況及び会計等すべて適正
であったことを認めます。

平成31年 4月16日

監 事 塩 井 重 利 ⑩

監 事 店 橋 宏 尚 ⑩

(本報告は原本と相違ありません。)

監 査 報 告

平成30年度宇都宮市地産地消推進会議の事業執行及び会計について、
関係書類及び帳簿等を監査した結果、事業の執行状況及び会計等すべて適正
であったことを認めます。

平成31年 4月16日

監 事 塩 井 重 利 ⑩

監 事 店 橋 宏 尚 ⑩

議案第3号 平成31年度 事業計画及び収支予算について

平成31年度事業計画及び収支予算について、運営要領第5条第1項第1号及び第2号の規定に基づき、次のとおり議決を求めます。

平成31年4月24日

I 平成31年度事業計画

1 事業方針

「地産地消推進計画（第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画のうち、基本施策3 市民と農家を結ぶ地産地消の強化）」に基づき、直売所等の市内に立地する農産物の販売施設を活かし、市民が宇都宮市産農産物を手に入れやすい仕組みづくりを推進するとともに、引き続き安全・安心な宇都宮市産農産物が提供され、市民の宇都宮市産農産物の購入意欲の喚起につながる事業を展開していく。

2 事業内容

(1) 手に入れやすい仕組みづくり

① うつのみや地産地消推進店の増加・充実など消費者が利用しやすい環境の創出

- ・ 市民はもちろん、本市を来訪する観光需要にも対応できるよう、地産地消推進店の増加・充実
- ・ 地産地消推進店マップの作成・配布や、「農業王国うつのみや」ホームページの活用による推進店の認知度向上
- ・ 地産地消推進店のPR活動として、市民によるSNS等への情報発信

② 「地産地消推進マルシェ」等の開催

- ・ 市民の地産地消推進店利用促進、また地産地消推進店の認知度向上を図るため、地産地消マルシェ等を開催

③ 「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」、飲食店キャンペーンの実施

- ・ 積極的な宇都宮市産農産物の購入促進を図るため、農産物直売所・小売店・量販店の地産地消推進店において秋季（推進月間を中心）に「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」の実施
- ・ 積極的に宇都宮市産農産物を食べていただくため、飲食店・宿泊施設において、飲食店キャンペーンの実施

④ アフターデスティネーションキャンペーンにおける農産物消費拡大事業

- ・ 4～6月のアフターデスティネーションキャンペーン期間において、地産地消推進店の宿泊施設を対象に、宇都宮市産農産物を活用したメニューを提供する朝食フェアを実施

⑤ 生産者と実需者とのマッチングによる地場農産物の利用促進【拡充】

- ・ 市内農業者と実需者とのビジネスマッチングを図ることで、宇都宮市産農産物の販路拡大や、生産規模の拡大を目指すとともに、市内における宇都宮市産農産物の使用割合を拡大し、地産地消を推進するための地場農産物・販売店等マッチング事業を実施
- ・ 結婚式場などまとまった利用が見込めそうな実需者への積極的なPR、継続的な取引につながらなかった生産者・実需者へヒアリング

⑥直売所機能充実による消費者の利便性向上

- ・ 施設の簡易な改修や農産物情報提供のために要する費用等の一部を助成して農産物直売所のイメージアップを図る、「農産物直売所イメージアップ事業」の実施

(2) 市民が支える仕組みづくり

①宇都宮市産農産物の紹介

- ・ 市内の各種イベントにおける宇都宮市産農産物PR

②地産地消強化月間（11月）における啓発活動

- ・ 市庁舎内でのパネル展示やパンフレット配布等による意識啓発
- ・ 広報紙の他、新聞・ラジオなど、様々な媒体による普及啓発活動
- ・ 「地産地消推進マルシェ」等の開催（再掲）
- ・ 「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」、飲食店キャンペーンの実施（再掲）

③多様な広報媒体を活用した啓発活動

- ・ 「農業王国うつのみや」ホームページ、SNS、アグリファンクラブ会員向けメールマガジン等の活用による効率的な情報発信

④小中学生向け地産地消啓発動画の作成【新規】

- ・ 市内の学校等と連携し、地産地消啓発動画を作成し、市内イベント時における放映、市ホームページでの公開、各学校での利用促進

(3) 安心感を高める仕組みづくり

①農産物の安全に関する研修会の開催

- ・ 県河内農業振興事務所・宇都宮農業協同組合・河宇ファーマーズショップ連絡会と連携し、生産者に対する農産物の安全・安心に関する研修会を実施

②県河内農業振興事務所と連携し、農産物直売所での生産者への生産履歴記帳等の確認・指導や、県の農産物放射性物質検査への協力

③生産履歴講習会の開催【新規】

- ・ 地域の生産者が共同で設置・運営している農産物直売所を対象に、生産履歴講習会の開催と生産履歴用紙の配布

④農産物直売所イメージアップ事業における残留農薬自主検査の補助

- ・ 残留農薬自主検査のための測定キットの購入や検査費用の補助

◆主な年間スケジュール（予定）

時期	内容
4月～	マッチング事業の実施
4～6月	地産地消推進店宿泊施設での朝食フェア
9月	地産地消啓発動画の作成
9～11月	採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン
9～11月	地産地消マルシェ
10月	生産履歴講習会の開催
11月	地産地消強化月間における啓発活動
11月	宇都宮市農林業祭における宇都宮市産農産物PR
12～1月	飲食店キャンペーン
3月	農産物の安全安心に関する研修会の開催
3月	地産地消推進店マップの作成
随時	地産地消推進店の増加・充実に向けた新規加入店勧誘

3 成果目標

地産地消をより推進させるため、引き続き下記目標を設定し、事業を展開していく。

(1)「手に入れやすい仕組みづくり」「市民が支える仕組みづくり」の目標値として、引き続き以下のとおり設定し、宇都宮市産農産物が消費拡大することを目指す。

目標	現状 (2017年度)	目標 (2023年度)
宇都宮市産農産物を積極的に購入する市民の割合	77.4%	100%

(2)「安心感を高める仕組みづくり」の目標値として、引き続き以下のとおり設定し、安全安心な宇都宮市産農産物が供給されることを目指す。

目標	現状 (2017年度)	目標 (2023年度)
出荷者全てが生産履歴を記帳している直売所の割合	44.0%	100%

Ⅱ 平成31年度収支予算

1 収入の部

(単位:円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 交付金		7,574,000	8,787,000	△ 1,213,000	
	(1) 交付金	7,574,000	8,787,000	△ 1,213,000	宇都宮市
2 助成金		1,652,000	1,545,000	107,000	
	(1) 団体助成金	1,652,000	1,545,000	107,000	宇都宮農業協同組合
3 繰越金		263,472	37,403	226,069	
	(1) 繰越金	263,472	37,403	226,069	前年度繰越金
4 雑収入		528	597	△ 69	
	(1) 雑収入	528	597	△ 69	利息等
合 計		9,490,000	10,370,000	△ 880,000	

2 支出の部

(単位:円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 事務費		260,000	238,000	22,000	
	(1) 会議費	10,000	88,000	△ 78,000	
	(2) 事務費	250,000	150,000	100,000	事務用品ほか
2 事業推進費		9,230,000	10,132,000	△ 902,000	
	(1) 普及啓発活動費【市民が支える仕組みづくり】	287,000	603,000	△ 316,000	啓発用物品ほか
	(2) 地場農産物利用促進費【手に入れやすい仕組みづくり】	8,484,300	9,455,000	△ 970,700	地産地消推進店認定・マップ作成費用, 「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」実施費用ほか
	(3) 女主・女心な農産物供給事業費【安心感を高める仕組みづくり】	458,700	74,000	384,700	生産履歴用紙作成ほか
合 計		9,490,000	10,370,000	△ 880,000	